



The Clay Science Society of Japan

一般社団法人日本粘土学会 2019年度総会議案書

日 時:令和元年9月10日(火)11:00～12:00

場 所:埼玉大学 全学講義棟 301 教室

(埼玉県さいたま市桜区下大久保 255)

総 会 次 第

開 会

総会の成立報告

会長挨拶

議長の選任

議事録署名人の指名

I. 審議事項

第1号議案 2019年度事業報告

第2号議案 2019年度収支決算報告及び監査報告

第3号議案 2019年度事業計画

第4号議案 2020年度収支予算

II. 報告事項

1. 2019年度学会賞等の受賞者

2. 2019年度学術振興賞の受賞者

3. 第63回粘土科学討論会の開催状況

4. その他

閉 会

一般社団法人日本粘土学会 2019 年度総会

I. 審議事項

第1号議案 2019 年度事業報告

一般社団法人日本粘土学会 2019 年度事業報告書
(平成 30 年 8 月 1 日～令和元年 7 月 31 日)

1. 学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

平成30年8月:第57巻2号の発行。主な掲載内容は、第62回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等)、日本粘土学会2018年度総会案内、論文1報および学会記事。

平成30年10月:編集委員会編集委員リストの更新を行った。

平成30年12月:第57巻3号を発行。主な掲載内容は、第63回粘土科学討論会の予告、2019年度日本粘土学会学会賞等(学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞)受賞候補者の募集、2019年度日本粘土学会学術振興賞の募集、2018年度日本粘土学会学会賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀講演賞の選考結果報告、2018年度学術振興賞の受賞報告、追悼文、第62回粘土科学討論会の報告および総会議事録等の学会記事。

平成31年3月:第58巻1号を発行。主な掲載内容は、第63回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込み等)、論文2編、解説1編及び学会記事。

平成31年2月及び4月:粘土科学原稿執筆要領の更新を行った。

令和元年7月:粘土科学投稿規程の更新を行った。

本年度の論文受付数:6編、受理数:3編、審査中:1編

(2) Clay Science

平成 30 年 12 月 Vol.22, No.3 発行 掲載論文数 3 編

平成 31 年 1 月 Vol.22, No.4 発行 掲載論文数 3 編

平成 31 年 3 月 Vol.23, No.1 発行 掲載論文数 3 編

令和元年 6 月 Vol.23, No.2 発行 掲載論文数 2 編

7 月 31 日現在 査読中 2 編

2. 研究発表会・見学会等の開催

(1) 第 62 回粘土科学討論会(早稲田大学)の開催

平成 30 年 9 月 10 日(月)～11 日(火):第 62 回粘土科学討論会(東京大会)を開催した。講演数及び参加登録者、懇親会参加者は次のとおり。

1) 講演数:会長講演、特別講演 1 件、シンポジウム講演 5 件、一般講演 口頭発表 48 件、ポスター発表 37 件、合計 82 件

2) 参加登録者:会員((正, シニア, 名誉, 共催・協賛・後援学協会会員を含む)112 名、学生会員(共催学会学生会員を含む):20 名, 非会員:10 名, 学生非会員:10 名、学生会員 18 名、一般非会員 9 名、学生非会員 16 名、合計 152 名

3) 懇親会参加者 92 名

4) ポスト第 62 回粘土科学討論会見学会(9 月 12 日(水)参加者 15 名

(2) 第 63 回粘土科学討論会(埼玉大学)の準備

1) 平成 30 年 12 月 討論会の開催予告をホームページに掲載した。

2) 令和元年 9 月 10 日(火)、11 日(水)開催の討論会会場として、埼玉大学の教室などの施設の予約を済ま

せた。

- 3) 令和元年5月 討論会専用の振込口座を開設し、学会事務局にて、講演要旨集の USB 作成の打合せと見積もりを行った。第 63 回粘土科学討論会のお知らせ(1st サーキュラー)をホームページと粘土科学に掲載した。
- 4) 令和元年 6 月-7 月 第 63 回粘土科学討論会の講演申し込み、参加申し込み、講演要旨の受付を行った。
- 5) 令和元年7月 22 日 第 63 回粘土科学討論会の講演申し込み、参加申し込み、講演要旨の受付を締め切った。
- 6) プログラムの概略を草案した。
- 7) 男女共同参画に関する特別企画(特別講演およびパネルディスカッション)を計画した。
- 8) 令和元年7月 第 63 回粘土科学討論会要旨集(USB)の編集、および当日配布プログラムへの広告掲載を依頼した。

3. シンポジウム・セミナーの開催

- (1) 第 62 回粘土科学討論会(早稲田大学)でのシンポジウム開催
 - 1) 平成 29 年 9 月 10 日にシンポジウムテーマ「粘土周辺の無機材料」、講演5件で開催した。
 - 2) シンポジウム報告を粘土科学第 57 巻第 3 号に掲載した。
- (2) 第 63 回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備
 - 1) 第 63 回粘土科学討論会でのシンポジウムの概略を草案した。
テーマを「水惑星と粘土」(仮題)とし、開催時間 2.5 時間程度(講師5名、講演時間 30 分程度/1 人)の開催予定で提案した。
 - 2) 講演者、講演題目を決定し、実行委員会に連絡した。

4. 参考粘土試料

平成 31 年 7 月現在、参考粘土試料として、カオリナイト(関白)、ディッカイト(勝光山)、パイロフィライト(勝光山)、モンモリロナイト(月布・三川)、合成サポナイト(クニミネ工業)、ハイドロバイオタイト(南アフリカ)の 7 種類を頒布している。

平成 30 年 8 月 1 日～令和元年7月 31 日分までの頒布状況は以下の通りである。

JCSS-1101 カオリナイト(関白)	1,500g
JCSS-1301 ディッカイト(勝光山)	700g
JCSS-2101 パイロフィライト(勝光山)	700g
JCSS-3101 モンモリロナイト(月布)	2,500g
JCSS-3102 モンモリロナイト(三川)	1,200g
JCSS-3501 合成サポナイト(クニミネ工業)	1,100g
JCSS-5501 ハイドロバイオタイト(南アフリカ)	800g

5. 広報

平成30年9月:2018年度総会議案書、2018年度総会議事録、第1回理事会及び常務委員会議事録、役員及び常務委員構成等の更新を行った。

平成31年1月:学会賞等受賞候補者の募集、粘土科学討論会報告および開催案内を掲載した。

平成31年2月:学術振興賞の募集を掲載した。

令和元年6月:第63回粘土科学討論会の開催案内の掲載と、各種申込フォームへのリンクを開設した。

適宜:会員に関連するワークショップの案内や公募情報など、会員向けメールリストを使用して情報発信を行った。

適宜:粘土科学 Q&A 数件に関して、対応すべき内容に関して適切に対応を行った。

6. 渉外

平成 30 年 10 月に、令和元年 7 月にパリで開催される 2019 EUROCLAY の3つのシンポジウムで本会会員が Convener を務めること、講演申込み締切が平成 31 年 1 月末であることを、会員にメールで告知した。平成 31 年 1 月に AIPEA ニュースレターの作成及び送付を行った。第 5 回アジア粘土会議と米国粘土学会の年會に関

する協力関係に関しては協議を継続中。

7. 表彰

(1) 学会賞等

平成30年9月10日開催の2018年度表彰式で、次のとおり学会賞等の受賞者が表彰された。優秀講演賞については、平成30年11月に各受賞者へ賞状が送付された。

学会賞:高木 慎介会員(首都大学東京 大学院都市環境科学研究科)

授賞題目「粘土鉱物 - 色素複合体における分子レベルナノ構造化学の開拓」

功績賞:坂本 尚史名誉会員(倉敷芸術科学大学 危機管理学部)

受賞題目:「日本粘土学会参考粘土試料の創設による粘土科学の社会への普及と啓蒙」

奨励賞:黒田 義之 会員(横浜国立大学 大学院工学研究院)

受賞題目:「配位化学を活用した層状金属水酸化物の精密構造制御と機能開拓」

奨励賞:敷中 一洋会員(産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門)

受賞題目:「粘土鉱物をコンポーネントとした刺激応答性材料の創製」

技術賞:上原 元樹会員(公益財団法人鉄道総合技術研究所)

授賞題目「環境負荷低減コンクリートの開発およびコンクリートのアルカリシリカ反応の研究」

論文賞:金城和俊、島田晴加

論文:南大東島に分布する赤色土壌の一部に生成された灰白色化土壌の生成メカニズムの検討、粘土科学 第56巻 第1号 1-7(2017).

論文賞:K. TAKAHASHI, R. ISHII, A. SUZUKI, T. NAKAMURA, M. YOSHIDA and T. EBINA

論文:PREPARATION OF LIGNIN/MONTMORILLONITE NANOCOMPOSITE FILMS AND ITS CHARACTERIZATION FOR ELECTRONIC DEVICES, Clay Science 21, 1-6 (2017)

優秀講演賞

口頭発表:齊藤寛治(秋田大院・理工)、延寿里美(京大・理・地惑)

ポスター発表:佐藤 隆恒(鉄道総研)

(2) 学術振興賞

平成30年9月10日開催の2018年度表彰式で、次のとおり学術振興賞の受賞者が表彰された。

東 裕貴

山口大学大学院 創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻 博士前期課程 2年

”Direct Observation and Optical Manipulation of Exfoliated niobate Nanosheets”

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部(5万円)の援助を実施する。

活動中の研究グループは「粘土鉱物を利用した革新的材料創製グループ」の1件である。

9. 庶務

(1) 他学会等との連絡・協力

1) 日本地球惑星科学連合(JpGU)関連事項

・平成30年10月5日および令和元年5月28日に学協会長会議が開催され、学生会員の減少、プライバシーポリシー改訂、防災学術連携体(日本学術会議とも連携)との協力関係の強化の意見交換や、学協会の法人化に関する情報交換がなされた。

・JpGU2019大会が開催された(日程:令和元年5月26(日)-30(木), 場所:幕張メッセ)

・JpGU2020大会ではAGUとのジョイントミーティング(JpGU-AGU Joint Meeting)が予定されている。開催日程:令和2年5月24.(日)~5.28.(木)。開催場所は幕張メッセ。

(2) 関連学協会との共催・協賛

下記の令和元年度期間中の共催 1 件、協賛 3 件の依頼があった。

共催

- 1) 第 62 回日本薄片研磨片技術研究討論会 (R1/10/2～R1/10/4) 日本薄片研磨片技術研究会

協賛

- 1) 熱測定サマースクール 2019(第 83 回熱測定講習会)～基礎から応用まで！材料・食品・バイオ分野の熱測定ユーザー向け基礎講義&実習(R1/8/20～R1/8/21) 日本熱測定学会
- 2) 粉体工業展大阪 2019(R1/10/16～R1/10/18) 一般社団法人 日本粉体工業技術協会
- 3) The 13th Pacific Rim Conference of Ceramic Societies (PACRIM13)(R1/10/ 27～11/1) 公益社団法人 日本セラミックス協会
- 4) 第 35 回ゼオライト研究発表会(R1/12/5～R1/12/6) 一般社団法人 日本ゼオライト学会

(3) 会員動向

会員種別	R1/1/26	R1/7/27	R1/8/24
名誉会員	20	19	19
シニア会員	10	10	10
正会員	296	298	275
学生会員	27	25	22
賛助会員	27(1 級 7, 2 級 7, 3 級 13)	27(1 級 7, 2 級 7, 3 級 13)	27(1 級 7, 2 級 7, 3 級 13)

10. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

2019 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催した。

9 月 11 日(火)第 1 回常務委員会

主な議題:2019 年度年間スケジュール、2019 年度常務委員の役割分担、粘土科学討論会について

1 月 26 日(土)第 2 回常務委員会

主な議題:2019 年度事業中間報告、2019 年度会計中間報告、会費滞納者への対応について、学会誌送付費用の上昇について、粘土科学に関しての規程類修正について、ダイバーシティ推進に関するアンケートについて第 62 回粘土科学討論会会計報告、第 63 回粘土科学討論会について、第 64 回粘土科学討論会について、その他

7 月 23 日(土)第 3 回常務委員会

主な議題:2019 年度事業中間報告、2019 年度会計中間報告、2020 年度業務委託契約、2020 年度事業計画、2020 年度予算、2019 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2019 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、2019 年度総会議案、粘土科学討論会について、第 64 回粘土科学討論会について、その他

(2) 理事会

2019 年度事業の業務執行を決定するため、下記のとおり理事会を開催した。

9 月 10 日(月)第 1 回理事会

主な議題:2019 年度年間スケジュール、2019 年度常務委員の役割分担、粘土科学討論会について

1 月 26 日(土)第 2 回理事会

主な議題:2019 年度事業中間報告、2019 年度会計中間報告、会費滞納者への対応について、学会誌送付費用の上昇について、粘土科学に関しての規程類修正について、ダイバーシティ推進に関するアンケートについて第 62 回粘土科学討論会会計報告、第 63 回粘土科学討論会について、第 64 回粘土科学討論会について、その他

7 月 23 日(土)第 3 回理事会

主な議題:2019年度事業中間報告、2019年度会計中間報告、2020年度業務委託契約、2020年度事業計画、2020年度予算、2019年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2019年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、2019年度総会議案、粘土科学討論会について、第64回粘土科学討論会について、その他

第2号議案 2019年度収支決算報告及び監査報告

一般社団法人日本粘土学会 2019年度会計決算報告書

(平成30年8月1日～令和元年7月31日)

1. 2019年度収支計算書

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額 (H30.8.1～ R1.7.31)	決算額 (H30.8.1～ R1.7.31)	差 異	備 考
1. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	2,936,000	3,085,000	-149,000	
正会員会費収入	1,967,000	2,131,500	-164,500	当年度 7,000 円×280 名(未納者 19 名) 過年度 7,000 円×24 名、3,500 円×1 名
シニア会員会費収入	35,000	35,000	0	当年度 3,500 円×10 名(未納者 0 名)
学生会員会費収入	84,000	108,500	-24,500	当年度 3,500 円×24 名(未納者 3 名) 過年度 3,500 円×6 名
賛助会員会費収入	850,000	810,000	40,000	当年度 40,000 円×7 社、30,000 円×7 社、20,000 円×13 社(未納 0 社) 過年度 40,000 円×1 社、20,000 円×1 社
② 学会誌出版事業収入	1,690,000	1,271,200	418,800	各事業の収支を明確にするため、各学会誌の収支は分けて記載
粘土科学誌収入	920,000	553,504	366,496	
粘土科学誌委託販売収入	80,000	57,024	22,976	33 冊 単価 1,728 円(下記定価×0.8)
粘土科学誌購読料収入	110,000	118,800	-8,800	55 冊 単価 2,160 円
粘土科学誌掲載料・別刷収入	120,000	157,680	-37,680	3 件
粘土科学誌バックナンバー収入	10,000	0	10,000	
粘土科学誌広告収入	600,000	220,000	380,000	粘土科学 2 件 単発 70,000 円×1 社、年間 150,000 円×1 社
Clay Science 誌収入	770,000	717,696	52,304	
Clay Science 誌委託販売収入	120,000	150,336	-30,336	87 冊 単価 1,728 円(下記定価×0.8)
Clay Science 誌購読料収入	150,000	186,120	-36,120	32 冊 単価 2,160 円 英文冊子体購読料 3,000 円×39 名
Clay Science 誌掲載料・別刷収入	500,000	381,240	118,760	8 件
Clay Science 誌バックナンバー収入	0	0	0	
入				
③ 一般事業収入	2,320,000	2,339,840	-19,840	
討論会収入	1,820,000	1,753,340	66,660	第 62 回粘土科学討論会(早稲田大学)
参加料収入	1,100,000	1,034,000	66,000	
見学会収入	0	0	0	例年の見学会形式ではなかったため無し
懇親会収入	600,000	635,000	-35,000	
広告収入	100,000	80,000	20,000	
講演要旨集(大会時)収入	20,000	4,340	15,660	
参考粘土試料頒布事業収入	400,000	486,500	-86,500	25 件
バナー広告収入	100,000	100,000	0	1 件
④ その他収入	60,000	25,745	34,255	
受取利息収入	0	110	-110	
雑収入	60,000	25,635	34,365	著作権料
⑤ 積立金受入収入	100,000	0	100,000	会計上、事業収支ではないため、投資活動収支に計上
積立金受入収入	100,000	0	100,000	
事業活動収入計	7,106,000	6,721,785	384,215	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	2,400,000	1,858,465	541,535	
粘土科学刊行費支出	1,100,000	865,242	234,758	
印刷製本費支出	980,000	771,822	208,178	57 巻 2 号(550 部)、57 巻 3 号(550 部)、58 巻 1 号(550 部)
別刷印刷製本費支出	100,000	54,000	46,000	58 巻 1 号
J-STAGE 登録費支出	20,000	39,420	-19,420	57 巻 2 号、57 巻 3 号、58 巻 1 号
Clay Science 誌刊行費支出	1,000,000	825,692	174,308	
印刷製本費支出	810,000	600,512	209,488	22 巻 3 号(550 部)、22 巻 4 号(155 部)、23 巻 1 号(155 部)、 23 巻 2 号(155 部)
別刷印刷製本費支出	100,000	144,990	-44,990	22 巻 3 号、22 巻 4 号、23 巻 1 号、23 巻 2 号
J-STAGE 登録費支出	90,000	80,190	9,810	22 巻 3 号、22 巻 4 号、23 巻 1 号、23 巻 2 号
発送費支出	300,000	167,531	132,469	粘土 57 巻 2 号～58 巻 1 号、CS22 巻 3 号～23 巻 2 号
② 一般事業費支出	2,210,000	2,304,711	-94,711	
討論会開催費支出	1,200,000	1,168,855	31,145	第 62 回粘土科学討論会(早稲田大学)
討論会運営費支出	600,000	701,844	-101,844	
見学会費支出	0	0	0	例年の見学会形式ではなかったため無し
懇親会費支出	600,000	467,011	132,989	
ホームページ管理更新費支出	120,000	116,640	3,360	8-7 月委託費
参考粘土試料頒布事業費支出	200,000	139,172	60,828	
各種委員会等運営費支出	0	0	0	

学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	140,000	134,481	5,519	AIPEA 会費
顕彰費支出	10,000	36,806	-26,806	賞状・賞状ホルダー
学術振興賞支出	100,000	150,000	-50,000	学術振興賞 (50,000 円×3 名)
会議費支出	430,000	548,757	-118,757	
理事会支出	30,000	31,000	-1,000	理事会お弁当代
常務委員会支出	400,000	517,757	-117,757	常務委員会交通費、お弁当代
その他会議費支出	0	0	0	
③ 管理費支出	81,200	81,550	-350	
租税公課支出	81,200	81,550	-350	法人住民税、印紙代
④ 事務費支出	1,724,667	1,560,021	164,646	
業務委託費支出	1,423,667	1,384,474	39,193	8-7 月委託費、登記変更手数料(司法書士)
旅費交通費支出	1,000	1,500	-500	事務局旅費
通信運搬費支出	210,000	103,636	106,364	サーバー料金、送料
事務消耗品費支出	80,000	40,737	39,263	8-7 月コピー代、封筒代
雑費支出	10,000	29,674	-19,674	残高証明書、振込手数料等
事業活動支出計	6,415,867	5,804,747	611,120	
事業活動収支差額	690,133	917,038	-226,905	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
積立金受入収入	0	150,000	-150,000	学術振興賞
投資活動収入計	0	150,000	-150,000	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	150,000	-150,000	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	690,133	1,067,038	-376,905	
前期繰越収支差額	214,019	214,019	0	
次期繰越収支差額	904,152	1,281,057	-376,905	

(1) 参考：2019 年度学会誌出版事業会計決算

粘土科学誌				Clay Science 誌				(単位:円)
科目	収入	科目	支出	科目	収入	科目	支出	
委託販売収入	57,024	印刷製本費支出	771,822	委託販売収入	150,336	印刷製本費支出	600,512	
購読料収入	118,800	別刷印刷製本費支出	54,000	購読料収入	186,120	別刷印刷製本費支出	144,990	
掲載料・別刷収入	157,680	J-STAGE 登録費支出	39,420	掲載料・別刷収入	381,240	J-STAGE 登録費支出	80,190	
バックナンバー収入	0			バックナンバー収入	0			
広告収入	220,000							
収入合計	553,504	支出合計	865,242	収入合計	717,696	支出合計	825,692	
収入-支出			-311,738	収入-支出			-107,996	

収支

(単位:円)

科目	収入 (H30.8.1~R1.7.31)	支出 (H30.8.1~R1.7.31)	収支
粘土科学誌	553,504	865,242	-311,738
Clay Science 誌	717,696	825,692	-107,996
発送費		167,531	-167,531
合計	1,271,200	1,858,465	-587,265

(2) 参考：学会誌在庫状況

令和元年 8 月 14 日現在

(単位:部)

粘土科学誌 巻号	在庫	Clay Science 誌 巻号	在庫
55-2	3	21-2	1
56-1	1	22-1	37
56-2,3	3	22-2	40
57-1	53	22-3	47
57-2	51	22-4	12
57-3	80	23-1	26
58-1	81	23-2	131

(3) 参考：2019年度参考粘土試料頒布事業会計決算

(単位:円)

収入の部	決算額 (H30.8.1～R1.7.31)	支出の部	決算額 (H30.8.1～R1.7.31)
試料売り上げ(25件)	486,500	試料代金	119,880
		事務手数料	16,160
		振込手数料	3,132
収入合計	486,500	支出合計	139,172
収入-支出	347,328		

2. 2019年度学術振興積立金決算

(単位:円)

科目	予算額 (H30.8.1～R1.7.31)	決算額 (H30.8.1～R1.7.31)	差異	備考
学術振興積立金 増加分				
前年度繰越金	774,666	774,666	0	積立金としての入金項目
本年度積立金				
受取利息	0	66	-66	
学術振興積立金 減少分				
本年度引当金	100,000	150,000	-50,000	
振込手数料	0	0	0	
次年度繰越金	674,666	624,732	49,934	

3. 2019年度貸借対照表

令和元年7月31日現在

(単位:円)

科目	期末 (R1.7.31)	期首 (H1.8.1)	増減	備考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金	0	0	0	
預金	5,324,829	4,190,464	1,134,365	
未収金	227,840	702,880	-475,040	
流動資産合計	5,552,669	4,893,344	659,325	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産合計	0	0	0	
(2) その他の固定資産				
特定資産				
学術振興積立金預金	624,732	774,666	-149,934	
その他の固定資産合計	624,732	774,666	-149,934	
固定資産合計	624,732	774,666	-149,934	
資産合計	6,177,401	5,668,010	509,391	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	1,259,112	1,419,825	-160,713	期末までに請求があり次期支払
前受金	1,074,000	1,219,500	-145,500	期末までに入金があり次期会計に計上
前受会費	1,938,500	2,040,000	-101,500	期末までに入金の2020年度会費
流動負債合計	4,271,612	4,679,325	-407,713	
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	4,271,612	4,679,325	-407,713	
III. 正味財産の部				
前期繰越正味財産	988,685	988,685	0	
当期正味財産増減額	917,104	0	917,104	
正味財産合計	1,905,789	988,685	917,104	
負債及び正味財産合計	6,177,401	5,668,010	509,391	

4. 2019年度財産目録

令和元年7月31現在

(単位：円)

科 目	期 末 (R1.7.31)	期 首 (H30.8.1)	増 減	備 考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
郵便振替(一社 日本粘土学会 年会費受入用)	1,894,635	740,848	1,153,787	
郵便振替(日本粘土学会 討論会用)	984,000	1,114,500	-130,500	
普通預金 みずほ銀行 (一社 日本粘土学会)	1,958,495	1,492,313	466,182	
普通預金 三菱UFJ銀行 (一社 日本粘土学会)	487,699	242,803	244,896	
定期預金 みずほ銀行 (一社 日本粘土学会)	0	600,000	-600,000	定期解約、普通預金へ移動
未収金 賛助会員会費、別刷代、広告代	227,840	702,880	-475,040	
流動資産合計	5,552,669	4,893,344	659,325	
2. 固定資産				
その他の固定資産 特定資産				
定期預金 みずほ銀行 (学術振興積立金)	0	774,666	-774,666	定期解約、普通預金へ移動
普通預金 みずほ銀行 (学術振興積立金)	624,732	0	624,732	
固定資産合計	624,732	774,666	-149,934	
資産合計	6,177,401	5,668,010	509,391	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金 国際文献社	640,826	1,150,500	-509,674	
未払金 参考粘土試料分	0	17,280	-17,280	
未払金 その他	618,286	252,045	366,241	
前受金 討論会参加費等	984,000	1,114,500	-130,500	
前受金 CS冊子体購読料	90,000	105,000	-15,000	
前受会費 正会員	1,236,000	1,317,000	-81,000	
前受会費 シニア会員	24,500	28,000	-3,500	
前受会費 学生会員	38,000	45,000	-7,000	
前受会費 賛助会員	640,000	650,000	-10,000	
流動負債合計	4,271,612	4,679,325	-407,713	
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	4,271,612	4,679,325	-407,713	
正味財産	1,905,789	988,685	917,104	

5. 2019年度正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	2019年度 (H30.8.1~R1.7.31)	2018年度 (H29.8.1~H30.7.31)	差 異
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	3,085,000	3,023,500	61,500
正会員受取会費	2,131,500	2,154,500	-23,000
シニア会員受取会費	35,000	35,000	0
学生会員受取会費	108,500	84,000	24,500
賛助会員受取会費	810,000	750,000	60,000
② 学会誌出版事業収益	1,271,200	1,811,952	-540,752
粘土科学誌収益	553,504	1,045,584	-492,080
粘土科学誌委託販売収益	57,024	74,304	-17,280
粘土科学誌購読料収益	118,800	110,160	8,640
粘土科学誌掲載料・別刷収益	157,680	118,800	38,880
粘土科学誌バックナンバー収益	0	2,320	-2,320
粘土科学誌広告収益	220,000	740,000	-520,000
Clay Science 誌収益	717,696	766,368	-48,672
Clay Science 誌委託販売収益	150,336	114,048	36,288
Clay Science 誌購読料収益	186,120	41,040	145,080
Clay Science 誌掲載料・別刷収益	381,240	611,280	-230,040
Clay Science 誌バックナンバー収入	0	0	0
講演要旨集(討論会外)収益	0	0	0
③ 一般事業収益	2,339,840	2,460,880	-121,040
討論会収益	1,753,340	1,914,880	-161,540

参加料収益	1,034,000	997,000	37,000
見学会収益	0	188,880	-188,880
懇親会収益	635,000	629,000	6,000
広告収益	80,000	100,000	-20,000
講演要旨集収益	4,340	0	4,340
参考粘土試料頒布事業収益	486,500	446,000	40,500
バナー広告収益	100,000	100,000	0
④ その他収益	25,811	176,697	-150,886
受取利息収益	176	6	170
雑収益	25,635	176,691	-151,056
経常収益計	6,721,851	7,473,029	-751,178
(2)経常費用			
① 学会誌出版事業費	1,858,465	2,715,787	-857,322
粘土科学刊行費	865,242	1,004,292	-139,050
印刷製本費	771,822	921,132	-149,310
別刷印刷製本費	54,000	54,000	0
J-STAGE 登録費	39,420	29,160	10,260
Clay Science 誌刊行費	825,692	1,416,636	-590,944
印刷製本費	600,512	1,122,768	-522,256
別刷印刷製本費	144,990	270,540	-125,550
J-STAGE 登録費	80,190	23,328	56,862
発送費	167,531	294,859	-127,328
② 一般事業費	2,304,711	2,912,780	-608,069
討論会開催費	1,168,855	1,428,519	-259,664
討論会運営費	701,844	670,863	30,981
見学会費	0	174,150	-174,150
懇親会費	467,011	583,506	-116,495
ホームページ管理更新費	116,640	174,960	-58,320
参考粘土試料頒布事業費	139,172	214,114	-74,942
各種委員会等運営費	0	0	0
学術交流費	10,000	10,000	0
国際交流費	134,481	140,408	-5,927
顕彰費	36,806	14,040	22,766
学術振興費	150,000	50,000	100,000
電子化推進経費	0	465,156	-465,156
会議費	548,757	415,583	133,174
理事会	31,000	3,525	27,475
常務委員会	517,757	383,778	133,979
その他会議費	0	28,280	-28,280
③ 管理費	81,550	81,800	-250
租税公課	81,550	81,800	-250
④ 事務費	1,560,021	2,148,641	-588,620
業務委託費	1,384,474	1,754,981	-370,507
旅費交通費	1,500	24,639	-23,139
通信運搬費	103,636	227,467	-123,831
事務消耗品費	40,737	123,227	-82,490
雑費	29,674	18,327	11,347
経常費用計	5,804,747	7,859,008	-2,054,261
当期経常増減額	917,104	-385,979	1,303,083
2.経常外増減の部			
1.経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
2.経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	917,104	-385,979	1,303,083
一般正味財産期首残高	988,685	1,374,664	-385,979
一般正味財産期末残高	1,905,789	988,685	917,104
II 正味財産期末残高	1,905,789	988,685	917,104

2019年8月13日

監 事 監 査 報 告 書

一般社団法人日本粘土学会
会長 山崎 淳司 殿

一般社団法人日本粘土学会

監事 志々目正高 
監事 丹村勝宏 

私たち監事は、一般社団法人日本粘土学会の2018年8月1日から2019年7月31日までの2019年度の監査を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、一般社団法人日本粘土学会の常務委員会及び理事会等の会議に出席して理事及び使用人等から業務の執行状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

また、2019年8月13日に当該事業年度に係る事業報告書、計算書類（収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書）及びその附属明細書等の調査を行いました。

2 監査の結果

- (1) 常務委員及び理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 計算書類及びその附属明細書等は、当法人の収支、財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 単年度予算額に比較して正味財産額が少なく、単年度収入程度の正味財産期末残高を保有することが適切な会運営に必要であると考えます。

以上

第3号議案 2020年度事業計画案

一般社団法人日本粘土学会 2020年度事業計画書(案)
(令和元年8月1日～令和2年7月31日)

1. 学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

学会誌「粘土科学」を下記の通り3冊発行する。

令和元年8月:第58巻2号を発行予定。主な掲載内容:第63回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等)、日本粘土学会2019年度総会案内、論文、その他

令和元年12月:第58巻3号を発行予定。主な掲載内容:2019年度日本粘土学会学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀発表賞の選考結果報告、2019年度学術振興賞の受賞報告、2020年度日本粘土学会学会賞等(学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞)受賞候補者の募集、2020年度日本粘土学会学術振興賞の募集、第63回粘土科学討論会の報告、第64回粘土科学討論会の予告、論文、その他

令和2年3月:第59巻1号を発行予定、主な掲載内容:第64回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込み等)、論文、その他

(2) Clay Science

英文学会誌「Clay Science」を下記の通り4冊発行する

令和元年12月 Vol.22, No.3 発行予定

令和元年1月 Vol.22, No.4 発行予定

令和2年3月 Vol.23, No.1 発行予定

令和2年6月 Vol.23, No.2 発行予定

Clay Science への投稿数を増やすため、会員及び会員以外の国内・国外研究者への積極的な投稿呼びかけを行う。

2. 研究発表会・見学会等の開催

(1) 第63回粘土科学討論会(埼玉大学)の準備と開催

令和元年8月 プログラムに掲載する広告の募集、講演要旨集 pdf版の作成。参加者の名札、領収書類等の準備など。

令和元年9月 会場の設営。使用する機器(プロジェクター、マイク、レーザーポインタ、ベル、ストップウォッチなど)の準備。会場で販売する学会誌等(粘土科学、Clay Science、討論会要旨集)のバックナンバーと領収書の準備。開会。

令和元年10月 討論会の会計処理と会計報告書の作成、粘土科学に掲載する討論会報告書の作成。

令和2年1月 常務委員会及び理事会で第63回粘土科学討論会の開催・会計報告。

(2) 第64回粘土科学討論会(信州大学)の準備

令和元年12月 討論会の開催予告をホームページに掲載する。

令和2年1月 討論会の開催計画を作成する。

令和2年2月 事務局から関連学会への共催・後援の依頼を行う

令和2年3月 第64回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込等)を粘土科学およびホームページに掲載する。

令和2年6月 講演申込の受付を行う。

令和2年7月 講演プログラム(案)を作成する。第64回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等)を粘土科学に掲載する。講演要旨に掲載する企業広告の募集を行う。

3. シンポジウム・セミナーの開催

(1) 第63回粘土科学討論会でのシンポジウム開催

令和元年9月10日シンポジウムテーマ「水惑星と粘土」として講演者5名、約3時間枠で開催する。令和元年11月末粘土科学に掲載する第63回粘土科学討論会シンポジウム報告を作成する。

(2) 第 64 回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備

第64回粘土科学討論会でのシンポジウム・セミナーの企画及び実施に向けた準備を行う。シンポジウムテーマは理事会に諮って決定する。4～5名の講師を依頼し、開催時間3時間程度(各講師30～40分程度)で計画する。シンポジウムの開催に向けて、以下の準備を行う。

- 令和2年1月末シンポジウム概略を草案
- 令和2年2月末スケジュール決定、講演者確定・依頼
- 令和2年3月末粘土科学及びHP掲載の案内作成
- 令和2年6月末講演者確定への連絡、予稿原稿の依頼
- 令和2年7月中予稿原稿の収集・提出

4. 参考粘土試料

日本粘土学会参考粘土試料として、次の粘土鉱物試料の頒布を行う。

- JSCC-1101 カオリナイト(関白)
- JSCC-1301 デイッカイト(勝光山)
- JSCC-2101 パイロフィライト(勝光山)
- JSCC-3101 モンモロロナイト(月布)
- JSCC-3102 モンモロロナイト(三川)
- JSCC-3501 合成サポナイト(クニミネ工業)
- JSCC-5501 ハイドロバイオタイト(南アフリカ)

5. 広 報

学会ホームページの更新と、必要に応じて粘土科学Q&Aに対する対応、バナー広告の掲載、メーリングリストを利用した各種案内等の送信を行う。なお、2020年度のホームページの主な更新及び掲載内容の予定は下記のとおりである。

令和元年10月:2019年度総会議案書、2019年度総会議事録、2020年度第1回理事会及び常務委員会議事録、の掲載。

令和元年12月:第64回粘土科学討論会予告の掲載。

令和2年2月:2020年度第2回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

令和2年3月:2020年度日本粘土学会学会賞等(学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞)受賞候補者の募集、2020年度日本粘土学会学術振興賞の募集、第64回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込み予告等)の掲載。

令和2年6～7月:第64回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等)、各種申込みフォームの掲載、2020年度第3回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

令和2年8月:総会開催のお知らせ、2020年度第4回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

6. 渉 外

AIPEA ニュースレターの作成及び送付、第4回アジア粘土会議の開催に対する協力等を行う。また、粘土に関する国際会議においてアジア粘土会議としてセッションを立てるなど、日本やアジアの粘土研究のアクティビティを紹介できる活動を行う。2024年に予定している米国粘土学会とアジア粘土会議の合同会議に向けた協力関係を継続する。

7. 表 彰

(1) 学会賞等

2020年度日本粘土学会賞等(学会賞、功績賞、奨励賞、技術賞)の受賞候補者の推薦を募集する。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。選考委員会において受賞候補者の選考を行う。また、粘土科学誌およびClay Science誌に掲載された論文の中から論文賞受賞候補論文の選考を行う。各賞の受賞候補者数は、学会賞:1名以内、功績賞:若干名、奨励賞:2名以内、技術賞:2名(件)以内、論文賞:原則として2編とする。

(2) 学術振興賞

2020年度学術振興賞の募集を行う。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員

へのメール配信とする。応募者に対して選考委員会で受賞候補者の選考を行う。受賞者数は2名以内とする。

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部を援助する。研究グループの活動期間は原則として3年とし、活動資金の援助は活動期間を通して1回限り5万円とする。

9. 庶務

(1) 他学会等との連絡・協力

公益社団法人日本地球惑星科学連合の団体会員として地球惑星科学系学会との連携を継続するとともに、日本学術会議の動向に関する情報収集を行う。

(2) 関連学協会との共催・協賛

粘土科学にかかわる各部門の学協会が開催する学会、講演会、展示会等の共催・協賛を行いつつ、連携と協力を進める

(3) 会員動向

会員動向の適切な把握に努めると共に、ホームページの会員マイページの利用を勧める。

10. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

2020年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催する。

9月11日(水)第1回常務委員会

主な議題:2020年度常務委員の役割分担、2020年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1月25日(土)第2回常務委員会

主な議題:2020年度事業中間報告、2020年度会計中間報告、第63回粘土科学討論会会計報告、第64回粘土科学討論会について、その他

7月25日(土)第3回常務委員会

主な議題:2020年度事業中間報告、2020年度会計中間報告、2021年度事業計画、2021年度予算、2020年度学会賞等の選考結果、2020年度学術振興賞選考結果、第64回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8月22日(土)第4回常務委員会

主な議題:2020年度事業報告、2020年度会計決算及び監査報告、2020年度総会議案書、第64回粘土科学討論会について、その他

(2) 理事会

2020年度事業の業務執行を決定するため、下記のとおり理事会を開催する。

9月10日(火)第1回理事会

主な議題:2020年度常務委員構成、2020年度委員会委員(学会賞等選考委員会委員、学術振興積立金運営委員会委員、役員候補者推薦委員会委員、選挙管理委員会委員、他)の選出、2020年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1月25日(土)第2回理事会

主な議題:2020年度事業中間報告、2020年度会計中間報告、第63回粘土科学討論会会計報告、第64回粘土科学討論会について、その他

7月25日(土)第3回理事会

主な議題:2020年度事業中間報告、2020年度会計中間報告、2021年度事業計画、2021年度予算、2020年度学会賞等の選考結果、2020年度学術振興賞選考結果、第64回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8月22日(土)第4回理事会

主な議題:2020年度事業報告、2020年度会計決算及び監査報告、2020年度総会議案書、第64回粘土科学討論会について、その他

第4号議案 2020年度収支予算案

一般社団法人日本粘土学会 2020年度収支予算案

(令和元年8月1日～令和2年7月31日)

一般会計

(単位:円)

科 目	2020年度 予算額 (R1.8.1～ R2.7.31)	2019年度 予算額 (R1.8.1～ R2.7.31)	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				(昨対: 2019年決算との対比目安)
① 会費収入	2,787,000	2,936,000	-149,000	令和元年8月24日現在の会員数
正会員会費収入	1,925,000	1,967,000	-42,000	7,000円×275名(昨対98%)(回収率100%)
シニア会員会費収入	35,000	35,000	0	3,500円×10名(昨対100%)(回収率100%)
学生会員会費収入	77,000	84,000	-7,000	3,500円×22名(昨対92%)(回収率100%)
賛助会員会費収入	750,000	850,000	-100,000	当年度40,000円×7社、30,000円×7社、20,000円×13社(昨対100%)(回収率100%)
② 学会誌出版事業収入	1,221,000	1,690,000	-469,000	
粘土科学誌収入	550,000	920,000	-370,000	
粘土科学誌委託販売収入	52,000	80,000	-28,000	30冊(昨対91%) 単価1,728円(下記定価×0.8)
粘土科学誌購読料収入	108,000	110,000	-2,000	50冊(昨対91%) 単価2,160円
粘土科学誌掲載料・別刷収入	165,000	120,000	45,000	4件(昨対100%)
粘土科学誌バックナンバー収入	5,000	10,000	-5,000	2件 単価2,160円
粘土科学誌広告収入	220,000	600,000	-380,000	粘土科学2件 単発70,000円×1社、年間150,000円×1社
Clay Science誌収入	671,000	770,000	-99,000	
Clay Science誌委託販売収入	121,000	120,000	1,000	70冊(昨対80%) 単価1,728円(下記定価×0.8)
Clay Science誌購読料収入	150,000	150,000	0	30冊(昨対94%) 単価2,160円 英文冊子体購読料3,000円×39名(昨対100%)
Clay Science誌掲載料・別刷収入	400,000	500,000	-100,000	8件(昨対100%) 掲載料値上げ(3,000円→5,000円/頁)
Clay Science誌バックナンバー収入	0	0	0	
③ 一般事業収入	1,890,500	2,320,000	-429,500	
討論会収入	1,390,500	1,820,000	-429,500	第63回粘土科学討論会(埼玉大学)
参加料収入	766,500	1,100,000	-333,500	
見学会収入	120,000	0	120,000	
懇親会収入	444,000	600,000	-156,000	
広告収入	60,000	100,000	-40,000	
講演要旨集(大会時)収入	0	20,000	-20,000	
参考粘土試料頒布事業収入	400,000	400,000	0	
バナー広告収入	100,000	100,000	0	年間契約1件
④ その他収入	30,000	60,000	-30,000	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	30,000	60,000	-30,000	著作権料 電子化により減少傾向
事業活動収入計	5,928,500	7,006,000	-1,077,500	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	1,969,000	2,400,000	-431,000	
粘土科学誌刊行費支出	981,000	1,100,000	-119,000	
印刷製本費支出	891,000	980,000	-89,000	58巻2号、3号、59巻1号(各500部)(昨対91%)
別刷印刷製本費支出	50,000	100,000	-50,000	電子化により減少傾向
J-STAGE登録費支出	40,000	20,000	20,000	1論文5000円 頁250円(昨対100%)
Clay Science誌刊行費支出	818,000	1,000,000	-182,000	
印刷製本費支出	628,000	810,000	-182,000	23巻3号、4号、24巻1号、2号(各120部)(昨対77%)
別刷印刷製本費支出	100,000	100,000	0	
J-STAGE登録費支出	90,000	90,000	0	1論文5000円 頁250円
発送費支出	170,000	300,000	-130,000	(昨対100%)
② 一般事業費支出	2,373,500	2,210,000	163,500	
討論会開催費支出	1,390,500	1,200,000	190,500	第63回粘土科学討論会(埼玉大学)
討論会運営費支出	826,500	600,000	226,500	
見学会費支出	120,000	0	120,000	
懇親会費支出	444,000	600,000	-156,000	
ホームページ管理更新費支出	120,000	120,000	0	更新管理、セキュリティサポート12か月分
参考粘土試料頒布事業費支出	200,000	200,000	0	
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	135,000	140,000	-5,000	AIPEA会費
顕彰費支出	37,000	10,000	27,000	(昨対100%)
学術振興費支出	150,000	100,000	50,000	学術振興費3名(昨対100%)
会議費支出	331,000	430,000	-99,000	
理事会支出	31,000	30,000	1,000	討論会会期中の弁当費
常務委員会支出	300,000	400,000	-100,000	討論会会期中の弁当費、交通費、Web会議導入で削減を検討

その他会議費支出	0	0	0	
③ 管理費支出	81,550	81,200	350	
租税公課支出	81,550	81,200	350	法人住民税、印紙代(昨対 100%)
④ 事務費支出	1,654,984	1,724,667	-69,683	
業務委託費支出	1,468,984	1,423,667	45,317	国際文献社委託費、諸手数料等
旅費交通費支出	6,000	1,000	5,000	事務局討論会出張(東京-埼玉)
通信運搬費支出	110,000	210,000	-100,000	(昨対 100%)
事務消耗品費支出	40,000	80,000	-40,000	(昨対 100%)
雑費支出	30,000	10,000	20,000	残高証明、手数料等(昨対 100%)
事業活動支出計	6,079,034	6,415,867	-336,833	
事業活動収支差額	-150,534	590,133	-740,667	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
積立金受入収入	150,000	100,000	50,000	3件(昨対 100%)
投資活動収入計	150,000	100,000	50,000	
2. 投資活動支出				
積立金預入支出	0	0	0	正味財産保有に向けた積立て
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	150,000	100,000	50,000	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	-534	590,133	-590,667	
前期繰越収支差額	904,152	129,175	774,977	
次期繰越収支差額	903,618	719,308	184,310	

II. 報告事項

1. 2019 年度学会賞等の受賞者

1. 学会賞 中戸晃之 (九州工業大学 大学院工学研究院 物質工学研究系)
受賞題目「コロイド科学にもとづく新しい無機ナノシート材料化学の開拓」
2. 功績賞 高木哲一 (産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門)
受賞題目「ベントナイトやカオリン等国内粘土に関する資源量調査と持続的な供給に関する研究を通じた粘土科学発展への貢献」
3. 奨励賞 鈴木康孝 (山口大学 大学院創成科学研究科)
受賞題目「粘土層間を利用した有機色素分子の光機能開拓」
4. 技術賞 野口幸紀 (株式会社イチネンケミカルズ)
受賞題目「塗工用水系粘土ペーストの開発と基板コーティング材料への展開」
5. 論文賞 四辻健治・館 幸男・河村雄行・有馬立身・佐久間博
受賞論文:分子動力学法によるモンモリロナイト層間中の水とイオンの物性評価—拡散モデルへの反映— 粘土科学 第 58 巻 第 1 号 8-25(2019)
6. 論文賞 M. Koike, Y. Asakura, Y. Kuroda, H. Wada, A. Shimojima, K. Kuroda
受賞論文: EFFECT OF INTERCALATED AMIDE MOLECULES ON INTERLAYER CONDENSATION OF LAYERED SILICATE RUB-15 Clay Science 22, 1-11 (2018).

2. 2019 年度学術振興賞の受賞者

1. 西尾謙吾 (中央大学大学院 理工学研究科 応用化学専攻)
受賞発表:Photoluminescence Cu nanoparticles induced by energy transfer on saponite nanosheets.
2. 西木悠人 (北海道大学大学院 工学院 環境循環システム専攻)
受賞発表:Formation of low-crystalline magnesium silicate at Kamuikotan metamorphic belts, Hokkaido, Japan.
3. 秋田郁美 (北海道大学大学院 工学院 材料科学専攻)
受賞発表:Direct imaging of monolayer silicate nanosheets by aberration corrected scanning transmission electron microscopy”
“A real space investigation of excited energy transfer reaction in quantum dots assembly of silicate surfaces through electron tomography.

3. 第 63 回粘土科学討論会の開催状況(8月19日現在の参加申込状況)

講演数、参加登録者、懇親会参加者、見学会参加申し込み者は次のとおりです。

(1) 講演数

特別講演1件、シンポジウム講演 5件、一般講演 口頭発表 38 件、ポスター発表 33 件
合計 71 件

(2) 参加登録者

正会員(含シニア会員, 名誉会員)・共催学会員 88 名、
学生会員・共催学会学生会員 15 名、
非会員 6 名、学生非会員 11 名、
合計 120 名

(3) 懇親会参加者 78 名

(4) 見学会参加申し込み者 20 名

4. その他